

## 研究室メンバー 大集結！ — 2011 年度 第一回研究室会議 —

The members of UD Lab. have gathered! — The First Lab. Meeting in 2011 —

4月15日に行われた今年度初の研究室会議に、本郷・柏から多くのメンバーが集まりました。144教室は満席。多くの人が集まる都市デザイン研は、今年も面白くなりそうです！

Almost all members of UD Lab. gathered in the first meeting on 15th April. The 144 class was filled with them. Surely, UD Lab. will be interesting this year too.



▲ 2011 年度都市デザイン研究室メンバーの集合写真 144 教室にて  
D1 鈴木 亮平

4月15日に今年度初めての研究室会議を行いました。新M1の11名(新領域創成科学研究科所属4名)の自己紹介もあり、今年度の研究室メンバーが初めて顔を合わせ、期待感溢れる中でのスタートです。今年はプロジェクトが大小

合わせて16もあり、賑やかな1年となりそうです。プロジェクトの中で議論を重ねて成長していくことが、この研究室の醍醐味ではありますが、やはり、プロジェクトを横断する広い視野で都市デザインを捉え、自分の研究テーマを深めて

いく議論もまた重要です。自分の考えを表現する、それを客観的に捉え、成長していく。研究室会議が本来のそういった場になるよう、運営していきたいと思えますし、一学生として、高い志でこの1年進んでいきたいと思えます。

## 北澤猛先生遺児支援基金

A Foundation for Prof. Kitazawa's children

北澤先生のご子息の成長を支援する基金が、西村先生、清家先生の手によって奥様に手渡されました。

教授 西村 幸夫



▲ 左から西村先生、北澤先生の奥様、清家先生

北澤猛先生が亡くなってはや1年半近くが経過しようとしています。この間、北澤先生を偲ぶ会が東大本郷キャンパス、東大柏キャンパス、横浜の3カ所で盛大に開催されたことは既に報告した通りです。この過程で、残された先生の4人のお子様の就職までの支援をしようということで「北澤猛先生遺児支援基金」がたちあがったことも研究室HPに掲載され、募金の呼びかけが本郷と柏それぞれで行われてきました。

このほど、その募金が集計され、去る4月1日に私と新領域の清家剛先生と

二人で北澤家を訪れ、奥様に直接基金をお渡しいたしました。延べ148人の方から総計402万1153円が集まりました。写真は北澤先生のご自宅で、遺影の前で基金をお贈りしているところです。その後、奥様もご家族も元気で生活されていますので、皆様ご安心ください。清家先生と二人でおいしい鰻丼までごちそうになってしまいました。

募金に協力してくださった皆さんに、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

12日-22日に建築会館で開催された復興に関する連続WS。その模様を報告してもらいます！

准教授 窪田 亜矢

M1 浅野 純子

## まちづくり展

22  
21  
20  
19  
18  
17  
16  
15  
14  
13  
12



▲ 窪田先生による理念の説明



▲ WSに参加した学生と来場者の議論

日本建築学会では、東日本大震災をうけ、企画中だった「まちづくり展」の内容を大きく変えて、震災復興まちづくりのあり方を議論する「連続WS」を開催することになりました。学生の皆さんも、記録係としてお手伝いいただいたり、学生シャレットWSに参加して議論に貢献してくれました。ありがとうございました。

プロのカメラマンである千葉さんのカメラワークのUSTREAM配信という状況にも助けられ、多くの方と場を共有できました。専門家の方々から寄せられた提案シートも100枚以上となり、学会の底力を感じました。個人的には、連続WSの企画を急遽担当することになり、色々な先生方と意見を交換し、講師やモデレーターの方々に内容を説明して依頼し、一応の終了をみる事ができました。学会としては、もちろんここからが本番です。これまでは香取市と浦安市しか見ていなかったのですが、福島に伺い、WSで得られた知見を現場で活かせるように努力したいと思います。

4月17日から21日まで、5日間にわたって行われた震災復興学生シャレットWSに参加しました。全国各地、中には被災地から参加している学生たちもいる中4班に分かれ、それぞれ広域マスタープラン、仮設住宅、コミュニティ、生業をテーマに議論・発表を行いました。私はコミュニティ班に所属し、宮城県石巻市を事例に、コミュニティの維持形成を軸としたコンパクトシティモデルを提案しました。

WSに参加した学生の大半は、被災地に行ったことがなく、どの班の提案もリアリティに欠ける部分が多かったと思います。しかし、今後も継続的に震災復興に関わっていきたいという学生が多く、今回のWSが1つのきっかけになり、次の動きに繋がっていくことを確信しました。

### USTREAM 配信継続中！

11日間のWSの様子が以下のURLから見られます。行けなかった人は是非ご覧ください。  
<http://www.ustream.tv/user/machiten>

## 新たな命の誕生！

## A New Life was born !

まちづくり大学院博士課程に在籍中の高橋 正樹さんのもとに、第二子が誕生されました。春ですね。心温まる、幸せに満ちたニュースです。

D2 高橋 正樹

博士課程の高橋正樹です。平成23年3月11日未明に、新しい家族が増えました。元気な女の子です。ちょうど、東日本大震災の日であり、家族全員、川崎の産婦人科の一室におりました。赤ちゃんは、何かを感じたのか、予定より早く生まれてきたのではないかと思います。

名前は、「しおり」と名づけました。東日本大震災の日に貴重な生をうけたことを心にとめ（栞）、高く志を織りなし（志織）、詩を織りなしながら（詩織）、まわりを幸せにしてほしいと願っております。

子育てをするようになって、子育ての環境はと考えると、まちの見え方が変わってきたような気がします。まちづくりの切り口も様々だと感じる今日この頃です。



▲ 恐る恐るしおりを抱く長男



▲ 誕生直後



▲ 筆者と

## Information

### 4月の予定

4月26日 佐原PJ現地調査  
4月26日 神楽坂PJ第一回MTG 16:00~ @神楽坂  
4月26-29日 五箇山PJ現地調査

### ✦ 編集後記

安川 千歌子

春ですね！M1の顔を見るたびに1年前の新鮮な気持ちを思い出しています。GW…は学生なのであまり関係ないのですが、なぜか私もすっかり旅行気分です。高野山、四国、香港・マカオ、スペイン…などなど、行きたいところがありすぎて、なかなか決められません。まずは、東部ワールドスクエアで各地のミニチュアを楽しんでこようと思います！